

DOCUMENT EYE

151

平成13年は2933件と前年に比べて55

駐停車車両の状況は?

WHY



駐停車車両の脇をトラックはかろうじて通過していく。



駐停車車両の背後から車道に出ようとする歩行者。



歩道に乗り上げるトラック。

駐停車車両の状況を観察する 1時間以上駐車していたクルマ55台中、 うちハザードランプを点滅させていたクルマ4台

近にある交差点の前後で、駐車禁止の標示がある約300mの区間に駐停車する車両を観察した。

1時間の観察の結果、駐停車車両は55台。その多くは配送用のトラックや営業車両などであったが、「コンビニエンスストア前などでは乗用車の駐車も多かった。そのうちハザードランプを点滅させていた車両は15台だった。

駐停車時間別では5分以内が18台、5分～15分が17台と、6割以上が15分以内の駐停車だった。一方、15分～30分の駐停車が11台、30分～60分が5台、60分以上の長時間の駐停車も4台いた。

このうち、歩道にまで乗り上げて停車した車両が1台(停車時間は5分以内)、反対側にクルマを停めて、ドライバーが荷物を持って道路を横断した例が1台(同5分以内)見られた。また、交差点内に25分以上も駐車したトラックや、20分駐車後、移動して、交差点から5m以内の場所に30分駐車というトラックも見かけた。

件増加している(平成13年版交通統計より)。また、駐停車車両の間からの歩行者の飛び出し事故もあとを絶たないなど、道路に駐停車している車両が事故発生の引き金になることが多い。
東京都内の商店街で駐停車車両の状況を観察した。

WATCHING

風で飛ばされた帽子を追いかけ車道に飛びだす子どもも

観察場所は東京・新宿区の「神楽坂通り」。JR飯田橋駅から早稲田方面に抜ける坂道で、地下鉄神楽坂駅に面している。ビルや商店が立ち並び、両側に幅3mほどの歩道がそれぞれ整備されている。観察は金曜日の夕方。登り坂の頂上付



車道に放置された荷物。

観察地点 / 東京都新宿区神楽坂「神楽坂通り」
観察日 / 8月9日(金曜日)
天候 / 晴れ
観察時間 / 16:20 ~ 17:20
観察者 / 3名

通行とはいえず、後ろからくるクルマに十分注意を払う必要があるように思われた。この他、駐停車車両の陰から車道に出てタクシーを停める女性や、カートを押してゆっくりと横断歩道以外を横断する高齢者など、横断歩道を利用しない歩行者も多数観察された。

PROPOSE

安易な駐停車が事故発生の原因に!

違法な駐停車は付近の交通を混雑させるとともに、道路の見通しを悪くするため、飛び出し事故などの原因となる。また、パトカーや消防車など緊急自動車の通行を妨げる恐れもある。

観察時間帯は夕方だったので、買物客などの歩行者が多いうえに、夏休み中というところもあって子どもたちの姿も目立っていた。子どもたちが急に道路に飛び出してくることは十分に予想される。駐停車の前後に子どもがいることも多い。駐停車時だけでなく、発進の際にも周囲の安全確認と後方確認を十分に行なう必要がある。

違法駐停車や迷惑駐停車は、走行中のクルマや道路を横断する歩行者や自転車にとって死角を生み出す危険な存在となる。安易に駐車することが交通事故発生の原因となっていることをもって一度再認識してほしい。

駐車と停車...駐車とは、クルマが継続的に停止することや、運転者がクルマから離れていてすぐに運転できない状態で停止することをいう。人の乗り降りや、5分以内の荷物の積み下ろしのための停止の場合は駐車にならない。停車とは、駐車にあたらぬ短時間のクルマの停止をいう。(交通の教則 基本版 より)

駐停車車両の時間(55台)

